

しこく

夏

2019年6月
第60号

02 特集

整形外科 当科の特色と 今後の展望

04

病院長から皆さまへ
診療体制が充実しました

06

南館だより
高まる精神科へのニーズ

Doctor's コラム
がんを予防する方法

07

新任医師・職員紹介

08

News & Information



特集 整形外科

当科の特色と今後の展望

今春、整形外科医師が増員されました。活気あるチーム医療を行い、地域住民に信頼、たよりにされる科を目指します！

リハビリテーション科部長
小林 大



profile

小林 大 (こばやし・まさる)

整形外科医。2016年4月より当院へ2度目の赴任。専門は脊椎外科、外傷外科。日本脊椎脊髄病学会認定指導医などの資格を持つ。DMAT 隊員でもある。

新年度を迎える春は人事異動の季節です。桜が咲き、暖かく気持ちの良い季節にどの組織においても新しい空気が入り活気が出るきっかけになりそうです。

当院整形外科も今春2名の新任医師を迎えることができました。徳島大学整形外科教室の西良教授並びに他関連病院の先生方にご配慮、ご協力をいただき増員となり、現在総勢5名の医師で診療を行っています。

さて、当院整形外科は50余年の歴史がありますが、201年の三島病院委譲後の9年間は変動が多かった時期と言えるかもしれません。

公立学校共済組合の病院は、組合員のために設立されたため、当初は日常診察に加え組合員の人間ドッグなど健診を行う病院でした。しかし、時代の移り変わりとともに近年は地域のニーズの変化に応え急性期医療および専門化された医療を提供する一般的な総合病院としての役割が大きくなりました。

当院整形外科でもこの9年間で外傷、骨折患者の受け入れが増

加し、3人、4人と人員が増え、より専門化された医療を提供することが可能になりました。

今春、さらに増員となり、ますます急性期医療に対応し、より高度な医療を提供できると考え、現在の当院整形外科の特色と今後の展望について簡単にご紹介させていただきます。

「骨折」

骨折に対する手術は「痛み」のコントロールと「骨癒合」を得るための安定化と整復を目的にします。高齢者の大腿骨頸部骨折は寝たきりの時間および廃用萎縮を最小限にするため手術を選択することが多くなります。麻酔科、手術室の協力のもとに手術の待機時間を極力少なくし、できるだけ負担の少ない手術方法を選択しています。また、小児科のある総合病院として小児外傷の受け入れも行っており、麻酔科の協力で当日に骨折手術を行うことも可能となっています。

「関節外科」

人工関節、関節鏡手術、骨切り



などを行なっています。人工関節はベテラン医師の手により安定した治療成績を得ています。特に最近では内反した多くの変形性膝関節症に対して下肢のアーライメントを外反に強制する「高位脛骨骨切り術」を積極的に行なっています。

来春、関節外科専門のベテラン医師が着任予定になっていますのでさらに専門化された関節外科が提供できると確信しています。

【脊椎外科】

保存加療で治癒しない腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊柱管狭窄症、腰椎すべり症、頸髄症、頸椎症性神経根症、後縦靭帯骨化症、胸腰椎圧迫骨折・破裂骨折等に対

して除圧、固定、矯正の手術を行います。

当科脊椎外科の特色としては日本脊椎脊髄病学会認定の指導医が2名（小林、寺井医師）在籍し、またそれぞれが種類の異なる日本整形外科学会認定内視鏡技術認定医（MED法とFED法）を持つことが挙げられます。MED法は2010年より当院へ導入し腰椎椎間板ヘルニアに対する手術を行ってきました。現在では、腰椎椎間板ヘルニアだけでなく、腰部脊柱管狭窄症や腰椎分離症、腰椎椎間関節嚢腫、頸椎症性神経根症などに対してもMED法を応用しています。さらに局所麻酔下でヘルニアや

狭窄症の手術が可能な低侵襲手術であるFED法（PELD法と同義）を寺井医師主導の下、6月より導入予定です。全ての疾患で適応となるわけではありませんが、この手術の適応となる場合はさらなる早期のスポーツ・社会・家庭復帰も期待できる最新の治療です。

右の二つの内視鏡の適応とならない場合もできるだけ負担の少ない手術を心がけています。脊椎固定術も経皮的椎弓根スクリーナーや術中回収血の利用、側方侵入椎体間固定の手法を導入するなど低侵襲となるよう努めています。また、二種類の脊椎内視鏡システムだけではなく、ナビゲーションシステム、脊椎外科専用の手術台など専用の手術機器も取り揃えましたので、今後、よりリスクを軽減し、より安全で安心な手術が提供できると考えています。

ベテラン医師および脊椎外科医志望の若手を含めて、計4人の医師により脊椎疾患に対して診療を行っています。また、脊椎手術件数も年々増加し、外来、手術

室、HCU、病棟のスタッフも専門知識を習熟しつつありますので、今後脊椎外科センターを開設する計画があります。

近々、当院は新病院の建設を計画しており、当科は徳島大学の協力を得て人員が徐々に揃いつつあります。近代的で綺麗な病院が建つと期待していますが、その立派な器に見合う、より質の高い医療を今後も探求し、スタッフ一丸となり頑張っていきたいと思えます。今後とも四国中央病院整形外科をよろしく願います。





診療体制が 充実しました

公立学校共済組合四国中央病院

病院長 北川哲也

新任に当たっての抱負

私は1980年に徳島大学を卒業し、外科医・心臓血管外科医として39年間、「一人一人、コトコトと治す」をモットーとして仕事してまいりました。

四国中央病院の理念は「真心・信頼・連携・思いやり」です。

善に向け、職員と協力して取り組んでまいります。

診療体制の充実

4月から内科、外科、整形外科、心療内科の医師が増員され、診療体制が充実しました。より質の高い医療を提供でき、地域に貢献できる診療体制が整いつつあります。

具体的には、呼吸器内科では4月から常勤2名体制となり標榜科として独立しました。呼吸器系疾患（悪性腫瘍喘息、COPD、睡眠時無呼吸症候群など）の専門性を重視した診断と治療の提供が可能です。また、最新の超音波内視鏡や気管支ナビゲーションシステムを取り入れており、診断率の向上に取り組んでいます。

がん診療の中心となる外科では、4月から常勤6名となり、これまで以上の診療と手術が可能となりました。乳腺外科については4月から乳腺専門医が毎週金曜日に専門外来を開設しています。私自身は、腹部・下肢

動脈の血管外科（外来は木曜日の午前）の専門外来を開始しています。血行再建術はもちろん、循環器内科と連携し、心臓・血管関係の薬物治療や管理を積極的に行います。歩行により生じる下肢痛や足趾潰瘍等でお悩みの方はご相談ください。

診療科目	新任医師	新体制
消化器内科	栗原健士	
呼吸器内科	西條敦郎	常勤2名に、標榜科として独立
循環器内科		西山副院長と八木医師が引き続き対応
外科	金川俊哉	常勤6名に、並列で手術が可能に
乳腺外科		乳腺専門医
血管外科	北川哲也	心臓血管外科専門医
整形外科	寺井智也 藤井悠玄	常勤5名に
産婦人科	新垣亮輔	
精神・心療内科	山崎聖広 西川洋 大町北斗	常勤5名に、メンタルヘルス事業も展開

profile

北川 哲也 (きたがわ・てつや)

1980年より徳島大学第二外科に勤務。1984年に年国立循環器病センター・心臓血管外科レジデント、1986年徳島大学心臓血管外科へ。2000年2月に徳島大学心臓血管外科教授に就任。2019年4月に四国中央病院病院長に就任。



整形外科も増員により常勤5名体制となり、外傷から関節、脊椎疾患まで、質量ともに充実し、幅広く対応できる整形外科となっております。自負しています。特にこの6月から新たに導入する機器を使用する局所麻酔下の内視鏡的全椎間板切除手術は低侵襲でお勧めです。寺井医師は、愛媛県と香川県では、その唯一の認定専門医です。

精神科・心療内科についても常勤5名体制となり、愛媛県で愛媛大学と当院の2つしかない専門医研修総合病院です。更に工夫したメンタルヘルス事業も積極

的に、多様に展開していきます。

二次救急病院としての役割

4月からの常勤医師の増員により、救急医療についても充実しつつあります。地域の住民や地域の医療機関の先生方が困らないように、また二次救急病院(※)としての使命を果たしていくための救急医療体制の確立は最優先課題のひとつです。紹介患者及び救急患者を『断らない、優しい、頼りになる』病院を目指

指します。今後も地域の開業医の先生方には、強く連携していただけますようお願い申し上げます。

※二次救急病院……入院や手術を要する患者さんに対する医療を受け入れる病院であり、四国中央市では3病院で当番日を決め、救急医療を行う病院群輪番制をとっている。

2025年を目処に三島医療センター(旧県立三島病院)と統合した新しい中核病院が建設されることが決定しています。既に愛媛県、四国中央市、医師会、大学、公立学校共済組合本部、関係医療機関との協議が進められています。地域の基幹病院として求められている「四国中央市の医療は四国中央市で完結できる質の高い医療の提供と救急医療の充実、そして若い医師、専門医を育てられる公的総合病院であること」を實踐できるように、全職員が自覚と決意と協力の意識を持って、一丸となって新しい四国中央病院づくりに邁進いたします。

新規採用者合同オリエンテーション

2019年度4月、医師10名他、22名の職員が当院に入職しました。地域医療に貢献できるよう、一丸となってがんばります。





profile

精神科 山崎 聖広
(やまざき・きよひろ)

愛媛大学医学部附属病院で診療、研究、教育に携わる。2019年4月より当院へ。

高まる精神科へのニーズ

近年、精神疾患患者数は増加傾向にあり、5年前の2014年でも392万人といわれ、疾患別では特につづ病や認知症が著しく増加しています。当院でも、幅広い精神疾患に対応しており、経験豊富なスタッフに加え、MRI検査、SPECT(脳血流検査)といった詳しい画像診断も可能であるため、安心して医療を受けて頂ける環境が整っております。また当院では、地域の医療に貢献するとともに、地域の基幹病院、研修施設としての礎を築かれています。精神科医師の研修施設にもなっており、研鑽の場としても充実した環境にあります。自身も先輩医師からのご指導を受け、診療の幅を広げるために経験を積むとともに、ここで培ってきた知識や経験をもつて、患者さんに還元していきたいと考えて

ております。

チームとしての協力体制

診療には、チームとしての協力体制が重要であり、治療に大きく影響してきます。当院精神科には、尊敬できる先輩医師や頼もしい後輩医師、頼りになるスタッフの存在があり、精神科の治療を一丸となって行うという雰囲気があります。

多職種でのカンファレンスを行い情報交換の場を設けることや、定期的な勉強会を開くといったことも行っており、個人の知識や技術の向上とともに、より良い質の高い医療の提供を目指しています。皆様のご健康のため、日々精進して参りますので、必要の際はお気軽にご相談ください。



Doctor's column
ドクターズ コラム

注目の医療技術や健康づくりのヒントを紹介します

がんを予防する方法

がんを予防する方法は2つあります。がんになることを防ぐ1次予防と、なってしまったがんを早く見つける2次予防です。1次予防の基本は発がん物質を避けることで、その最たるものが禁煙です。煙草は肺がんだけでなく、多くのがんのリスクを上げる発がん物質の親玉です。また飲酒も発がんに関係があります。アルコールはWHOも認める発がん物質なのです。これらを避け、適正な生活習慣(バランスのとれた食事、肥満の防止、適度な運動)に努めることはがんの予防になります。ちなみに糖尿病になると全てのがんの発生リスクが20%上がります。

さらに発がん重要なものに感染症があります。がんの原因とされる感染症はいくつかありますが、日本人に多いのはヒトパピローマウイルス

ス「HPV」(子宮頸がん)、B型・C型肝炎ウイルス(肝臓がん)、ヘリコバクター・ピロリ菌(胃がん)です。これらの感染を予防したり、既に感染したものを治療することはそのがんの予防に効果があります。

ではこれらに感染していない人が、もし禁煙、適量飲酒、適正な生活習慣の全てをやり続けたとしたらどのくらいのがんを予防できるでしょうか? 試算によると、がんの40%が防げるのだそうです。かなり大きな効果ですが、それでもまだ安心はできません。第一そんな厳格な生活を一生続けられる人がどのくらいいるでしょう。やはり2次予防(がん検診)が必要です。がん検診を定期的に切れ目なく受けること、それが最大のがん予防法なのです。



profile

健康管理センター長
濱田 信一 (はまだ・しんいち)

がんだけでなく、生活習慣病などさまざまな病気を早期に見るのが私たちの仕事です。健康管理センターにご相談ください。

新任医師・職員紹介

はじめまして、よろしくお願いします

2019年に新たに採用された12名を紹介します。①趣味 ②自己PR



病院長
北川 哲也 (きたがわ てつや)

①ゴルフ、釣り②この4月から四国中央病院長を務めます。宇摩圏域の地域医療に貢献することと活気溢れる明るい病院作りに努力します。外科医・心臓血管外科医ならびに循環器専門医として血管外科診療を始めます。ご支援ください。



第3整形外科部長
寺井 智也 (てらい ともや)

①釣り、ゴルフ②4月から整形外科に勤務しております。以前は徳島県鳴門病院脊椎脊髄センターで勤務しており、愛媛県は5年ぶりになります。四国中央市の医療に貢献できるように頑張りますので、よろしくお願いいたします。



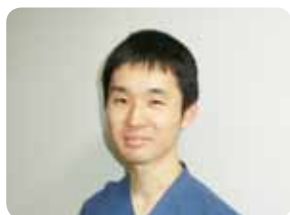
第5内科部長
西條 敦郎 (さいじょう あつろう)

①読書②4月から内科に勤務しています。専門は呼吸器内科で、前任地では特に肺がんの薬物療法に携わってきました。四国中央地域の内科・呼吸器内科診療に貢献できるよう頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。



第2内科部長
柴 昌子 (しば まさこ)

①音楽鑑賞②5月より赴任いたしました。愛媛の方々の穏やかな人柄に心なごむ日々です。患者さんに寄り添い、丁寧な診療を行ってゆきたいと思っています。よろしくお願いいたします。



整形外科医員
藤井 悠玄 (ふじい ゆうげん)

①テニス②四国子どもとおとなの医療センターより参りました。卒後5年目であり、まだ専門分野はないため、外傷を中心に診療させていただきます。よろしくお願いいたします。



精神科医員
山崎 聖広 (やまざき きよひろ)

①音楽②精神疾患全般に診療していますが、特に薬理学会や認知症学会に所属して研鑽を積んでいます。お気軽にお声かけください。今後ともよろしくお願いいたします。



心療内科医員
西川 洋 (にしかわ ひろし)

①山歩き、焚き火、米作り②40歳で医学部に入学した変わり者です。京都出身ですが、妻の出身地である愛媛は第2の故郷です。アウトドアが趣味で休日は四国の豊かな自然を満喫しています。地域のメンタルケアに貢献できるよう努めて参ります。



精神科医員
大町 北斗 (おおまち ほくと)

①ドラム②精神科単科病院から総合病院へ、カルテも紙から電子カルテへと変わり、なかなか慣れるのに時間がかかりそうと考えてしまいます。御迷惑をお掛けするかもしれませんが、皆様宜しくお願いします。



内科医員
栗原 健士 (くりはら たけし)

①E-Sport、ドライブ等②徳島から赴任してきました。愛媛県で働くのは初めてでまだまだ慣れないことは沢山ありますが、少しでも四国中央市の医療に貢献できるように頑張っていきたいと思えます。よろしくお願いいたします。



産婦人科医員
新垣 亮輔 (あらかき りょうご)

①ゲーム②産婦人科医3年目の新垣です。学生時代は水泳や合気道をしていましたが、医者になってから全く動かなくなりました。新しい職場になったので生活も変えられるよう努力します。



事務部長
梶原 正光 (かじわら まさみつ)

①ゴルフ、レクバレー、野球、バスケットボール、テニス、囲碁②4月から4年振りに当院に就任しました。長いブランクがありますが、今後の病院の発展に寄与できるよう、一步一步コツコツと精一杯尽力していきますので、よろしくお願いいたします。



経営企画係長
河村 剛史 (かわむら たけし)

①サッカー観戦・靴作り②兵庫県伊丹市の近畿中央病院から転勤で参りました。サッカー観戦と革靴を作ることが趣味です。長年ガンバ大阪のファンですが、今年から愛媛FCも応援していこうと思っています。また、靴にご興味のある方がおられましたら、是非お声掛けください。



看護の日イベントを 開催しました

5月10日(金)

看護の日にあたって、受診に来られた方へ骨折や寝たきり予防の相談や運動方法をご紹介します。



5月12日は
看護の日

骨折発生リスク相談

骨折の発生リスクを機械を用いて計算し、結果に応じた予防方法をお伝えしました。

認定看護師コーナー

認定看護師（皮膚排泄ケア、感染）による介護相談を行いました。メディカルアロマ認定看護師によるハンドマッサージは大人気。



介護相談&サンプル提供

地元企業の協力による介護相談や介護用品のサンプル提供も大盛況。



栄養相談

栄養士が骨を丈夫にする食材や組み合わせなどの栄養相談を行いました。

ロコモ予防運動コーナー

無理のないストレッチや筋力運動を一緒に行いました。



なぜ、
5月12日が
看護の日？



近代看護をきづいたナイチンゲールの誕生日にちなみ、5月12日が看護の日に制定されました。

6/4

(金)

歯と口の健康週間イベント

口腔ケアチーム会主催で口腔に関する相談やポスターを掲示した啓蒙活動をしています。市内の歯科衛生士さんにも協力いただき、「いつまでも口から食べる」を支援する活動をしています。



オープンホスピタル

今年も、四国中央市の高校生を対象にオープンホスピタルを開催します。ドクター、看護師、薬剤師など病院でのあこがれの職種の疑似体験や先輩の体験談・人生のアドバイス(?)等、大変好評を得ています。



8月

Calendar 2019 カレンダー

6月 June

4日(金) 歯と口の健康週間イベント
28日(金) 頑張れサロン開催

7月 July

1日(金)～5日(金)
市内中学生職場体験学習
(えひめジョブチャレU15事業)
15日(金) 海の日

8月 August

某日(実施日未定) オープンホスピタル
11日(金) 山の日 12日(土) 振替休日
23日(金) 頑張れサロン開催

次号(秋号)は9月1日(金)発行です。

病院理念 … 真心・信頼・連携・思いやり



公立学校共済組合

四国中央病院

愛媛県指定がん診療連携推進病院

Shikoku Central Hospital of the Mutual aid Association of Public School teachers

〒799-0101 愛媛県四国中央市川之江町 2233 番地 TEL (0896) 58-3515 FAX (0896) 58-3464

ホームページ <http://www.shikoku-ctr-hsp.jp/>